

ありんこ水俣 放課後等デイサービス (事業所)

・バリアフリー化の配慮

→現状バリアフリー化を必要とする利用者なし

・第三者による外部評価

→第三者評価は行っていない

・研修の機会の確保

→月一回の研修を企画していたが、コロナの関係で休止
月一回外部講師にきてもらい研修

・活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

→スタッフ同士話し合いをし、固定することがないように活動内容は毎回違う内容を提供できるようにしている。

・平日、休日、長期休暇に応じて課題を設定しているか

→休日受け入れなし
その個に必要な課題を提供できるように工夫している。
集団遊びが苦手な子どもも入りやすい環境作り

・支援終了後に必ず打ち合わせをし振り返りを行い共有できているか

→送迎もあり、当日の振り返りは難しい現状
情報共有することでスムーズに支援することが出来ている。
送迎の関係でその日には振り返りできないが次の日に必ず行う。

・日々の支援に関して記録を徹底し検証・改善につなげているか

→その日になるべく記録することで、次の利用日までに改善できるよう対応。
連絡帳、日誌に毎日記録。

・定期的にモニタリングを行い計画の見直しの必要性を判断しているか

→児発管を中心に指導員を含め話し合いを行っている。
定期的に行っている。

・事業所のサービス担当者会議に最もふさわしいものが参画しているか

→字は宇菅が参加している。

- ・学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか
→送迎時の対応は学校側から TEL があったりなどがある。
下校時刻は保護者様より毎週 LINE にてもらっている。

- ・学校を卒業し放デイから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容の情報提供等しているか
→サポートブックを作り各事業所、関係機関と情報共有している。

- ・障がいのない子どもと活動する機会
→外遊びを中心に地域の子も達と触れ合える機会を設けている。
外活動の時、地域の小友達と遊んだりしている。

- ・子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか
→連絡帳や直接送迎時などを通して情報交換を行っている。
連絡帳や見学などで情報共有

- ・運営規定、支援内容、利用者負担等についての説明
→保護者様や子どもさんの様子を見て対応している
契約時に説明している

- ・子育ての悩み等に対する相談に必要な助言と支援をおこなっているか
→連絡帳や送迎等を通して、その都度対応をしている。
電話や LINE、見学の時など必要な支援を行っている。

- ・父母の会の活動、保護者会を開催する事により保護者同士の連携を支援しているか
→現在実施できていない。
コロナでここ 2 年程出来ていない。

- ・子どもや保護者からの苦情について迅速かつ適切に対応しているか
→すぐにスタッフと話し合いをし、迅速に対応している。

- ・定期的に会報等を発行し活動や行事予定を子どもや保護者に発信しているか
→年間行事は毎年 4 月に発行
毎月おたより発行している。

・障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか
→その日、少しでもできたこと、成長したことに関しても連絡帳を中心に情報共有。

・災害の発生に備え、定期的に必要な訓練をおこなっているか
→年に2回実施
定期的に行うことで、指導員も意識する。

・虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど対応をしているか
→定期的に行っている。

・食物アレルギーの子どもについて、対応がされているか
→事前にアレルギーの有無の確認おやつ時に対応

・ヒヤリハットを作成して事業所内に共有しているか
→安全面に配慮しながら対応している。

